



ネバダ大学リノ校



卒業式が行われる中庭



化学科の建物

### 世界の大学シリーズ(2) ネバダ大学リノ校 (アメリカ)

1992年8月末から米国ネバダ大学リノ校化学科 Lawrence T. Scott 教授の下で博士研究員として研究する機会を得ました。

ネバダ州の北西部、州都カーソンシティの北に位置するリノ市のネバダ大学リノ校は、東に Washoe 山脈、西に Sierra Nevada、南にリノ市街地を見晴らせる市の北端のなだらかな傾斜地にあります。州立大学として、1905年に最初の卒業生を出し、現在では約1万1千人の学生を擁する総合大学です。200エーカーほどのキャンパスの広さは中規模の大学で、自転車や徒歩で動き回るのにちょうど良い広さです。キャンパス内には、近代的で新しい建物と、歴史的な建築物が同居し、エルム並木の中に低層の建物が点在しています。

ネバダ州と言えばカジノ、カジノと言えばラスベガスですが、リノはラスベガスに次ぐ知る人ぞ知るカジノの町で、カジノホテルのネオンは1日24時間、1年中消えることはありません。また、夏はキャンプ、冬はスキーで賑わうリゾート別荘地タホ湖やゴールドラッシュ時代のゴーストタウン バージニアシティの入り口に位置し、ロデオ大会が巡ってくる典型的な西部の観光の町です。カジノホテルでギャンブルに興じているのはほとんど観光客で、大学も学生寮もカジノ街まで歩いて数分のところにあるのですが、学生たちの生活は至って質素で、落ち着いた風に見えました。

工学部応用化学講座 安蘇芳雄 (あそ・よしお)



いかにも西部らしい研究室の記念写真  
中段左端が Scott 教授、その上段が筆者

### 宇宙からの贈り物—隕石— (表紙)

宇宙から降ってくる隕石は、地球などの惑星の原材料であった微惑星の名残といわれ、惑星誕生の秘密を解き明かしてくれる。

写真は、南極大陸の氷床から見つかった隕石の一つで、コンドライトと呼ばれるものである。顕微鏡下でみると、赤や青に輝くカンラン石がちりばめられ、また、左下にみられるように直径1mm程度の球状体が含まれている。これらは宇宙空間をさまようチリやガスが集積してできた液滴から、約46億年前に結晶したと考えられている。

人類を含め地球に存在する万物のルーツをたずねていくと、全てこのような隕石にたどり着くのである。

学校教育学部 鈴木盛久 (すずき・もりひさ)

